

2014年10月29日

ダムよらない治水を検討する場

九州地方整備局長 金尾健司 殿

熊本県知事 蒲島郁夫 殿

## 要 望 書

清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会

共同代表 緒方俊一郎

共同代表 岐部 明廣

子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会

代表 中島 康

「ダムによらない治水を検討する場」が掲げている目的を見てみよう。そこには、『地域の宝』である球磨川において、ローカルな価値観を反映した川づくりを行う」とある。

ところが、「ダムによらない治水を検討する場」はすでに5年半も時を費やしているにも関わらず、目的に沿った議論をしたことは一度もない。

地域の宝である球磨川とはどんな川を意味しているのだろうか。この意味を理解することなく、ローカルな価値観を反映した川づくりなどはまともに検討することは出来ない。事実、人吉市における住民説明会の内容は後で述べるように何の根拠もない安全度の低さを煽るだけの貧弱な内容のものでしかなかった。どんな川づくりをするのかに関する具体的な内容はゼロであった。

流域住民を川辺川ダム建設の反対に立ち上がらせた原風景がある。球磨川に次々と建設されたダムや堰が地域の宝としてきた球磨川をまるごと破壊していった姿である。この事実と真摯に向き合わない限り、「ダムによらない」の真意を受け止めることは出来ない。

流域住民は、ダムが球磨川に何をもたらすものかを具体的に認識していた。だから、単に川辺川ダム建設にだけ反対したのではなく、荒瀬ダム撤去や瀬戸石ダムのような既存のダム撤去も強く訴えてきたし、堰も問題にしてきた。川辺川ダム建設反対は単に川辺川ダム建設に反対するのではなく、かつて地域の宝となっていたゆたかな球磨川を取り戻すための取り組みでもあった。現在も、その精神は貫かれている。

では、この「地域の宝」である球磨川とはどんな川を言っているのだろうか。

一言で言えば、アユやウナギが川と海を自由に行き来することが出来る球磨川を意味している。だから、荒瀬ダム撤去も瀬戸石ダム撤去にも真剣に取り組んできたのだ。

流域住民は「現存の球磨川がどうなっているか」「現存の球磨川が住民の暮らしに何をもたらしているか」をしっかりと捉えた上で川辺川ダム建設に反対し、球磨川を破壊している建造物の撤去を求めたのだ。

さらに、流域住民は地域の自然が育ててくれた球磨川・川辺川の景観がダムによって大きな変化した事実にも注目をしていた。ダムとセットで、河口から源流までコンクリートづけにされていく球磨川・川辺川を見ていられなくなっていたからである。同時に、流域住民の暮らしの中から球磨川が奪い取られていくことも大きな問題として捉えていたからだ。

自然のままの美しい球磨川・川辺川の再生こそ、ダムによらない治水を検討するが場が掲げている目的の川づくりである。この川づくりを強く要望する。

このような要望に対し、「検討する場」はあくまでも「川辺川ダムによらない治水を検討する場」であるという考えをもたれるとすれば、それはとても軽率な考えである。目的に流域住民が宝とする球磨川・川辺川づくりを掲げているからである。

この目的を実現させる治水対策で一番大切な事は、中流域においては瀬戸石ダムを撤去することである。異常な堆砂問題は解消され、水位を大きく引き下げることが出来るからだ。

瀬戸石ダム撤去こそ、ゆたかな球磨川の再生を実現させると同時に、道路の嵩上げも宅地の嵩上げも不要となる。ここまでやって初めて極限まで検討したと言える。

安全度が低いと騒いでいる人吉地点においては計画高水を徹底的に検討しなければならない。計画高水位 4.07mを基に治水安全度を議論しているからだ。



とは本質的に異なる防災の安全度を高めて欲しいと要望していることをしっかりと心に留め置いて頂きたい。

### ゆたかな球磨川を取り戻すための要望

1) 河川整備計画の目的に「アユやウナギが自由に行き来できる球磨川の再生を目指す」を明記して頂きたい。そのための具体策として、遥拝堰の改修だけではなく、瀬戸石ダム撤去も含め、上流までの川づくりを策定して頂きたい。

特に、ほぼ上流部に建設された市房ダム・幸野ダム・百太郎堰・鮎の瀬の堰が球磨川をどのように破壊しているかを具体的に調査し、その対応策を河川整備計画に盛り込んで頂きたい。この地点の対策を抜きにして「宝の球磨川」の再生はあり得ません。

2) 森と川は一つの自然であるということを経にした項目を設け、生態系のゆたかな森林づくりと結びつけた川づくりを河川整備計画に盛り込んで頂きたい。これは、同時に山地崩壊・土砂災害の防止にもなり、流域の地質に対応した適切な対策にもなるものです。

### 命を守る防災を実現させるための要望

住民説明会において「これからは人吉地区の河川改修に取り掛かる」という説明がありました。この説明を受け、下記の内容を要望します。

- 1) 命を守る防災の立場から、人吉地区において建設されている特殊堤はすべて自立式構造の特殊堤に作り替えて頂きたい。
- 2) 河道が20%狭くなっている人吉橋左岸の堤防未改修の部分は住民説明会でも説明されていたが早急に対応して頂きたい。
- 3) 命を守る防災の立場から、温泉町地区の堤防には矢板を打ち込んだより強固な堤防に作り替えて頂きたい。
- 4) 下青井町右岸や中川原公園周辺は勿論のこと、人吉地区のほぼ全域において土砂の堆積は顕著です。水位を高めると同時に大きなうねりの要因にもなっています。住民説明会で「浚渫は私たちの責務であり、予算もある」と説明された。樹木の伐採も含め、この河川改修に早急に取り組んで頂きたい。

以上